

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	剪定枝資源化施設運営事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	04	02	03	07	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター					
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	搬入された剪定枝から作られる堆肥を利用する市民	意図	剪定枝資源化施設の円滑な管理運営及び安全性を確保する。
事業内容	市内で発生する剪定枝から堆肥等をつくり、熟成した堆肥を市民に頒布することにより緑のリサイクルを進め循環型社会の形成に資する。			
事業開始から現在までの状況変化	グリーンチェーン戦略の一環として緑のリサイクルを目指し、これまでに焼却処分していた剪定枝を「エコ堆肥」やチップにリサイクルをしていたが、東日本大震災に伴う福島第一原発事故により堆肥等に含まれる放射性物質の濃度が通常より高い数値であるため、製造・販売を中止している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 堆肥等の原料として搬入される剪定枝の量	0	0	0	t	→→	
	② エコ堆肥の販売量	0	0	0	t	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） エコ堆肥の原料となる剪定枝が通常より高い放射能物質を含んでいたため、搬入される剪定枝は資源化できなかった。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		13,615,870	17,019,615	19,496,593			
事業費(b)(円)		6,628,870	7,730,615	9,580,593			
うち一般財源		6,628,870	7,730,615	9,580,593			
職員給与費(c)(円)		6,987,000	9,289,000	9,916,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)			1.00	1.00			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	放射能問題でエコ堆肥の製造・販売を中止しているが、施設の保全に努めた。	③取組の課題	森のエコ堆肥の製造・販売が再開したときに備え、機器の保全に努める。
②今年度(H27)に実施した取組	剪定枝資源化施設の破砕機を稼働し、一時仮置き場の減容化を図った。	④今後の改善計画	放射能物質の影響がなくなり次第、森のエコ堆肥の製造・販売が再開できるように努める。